

今月の一言

キーワード：土壌や根っこ

売上高や営業利益などの数字で表される資産は財務諸表に書かれますが、信念や企業文化、技術力といった会社を根底から支えている資産は、決して財務諸表には書かれませんが、それを軽視してしまえば、企業は利益を生み出すことはできないのです。私はこのことを果樹にたとえて表現しています。見える資産は果樹でいえば果実そのものです。一方、見えない資産は、果樹でいえば土壌や根っこの部分。よい果実が木に実るのも、すべて、木が土壌に深く根を張って養分を吸い上げているからです。根がしっかりと伸びて育っていなければ、よい果実は望めません。根が腐っていれば、木が立ち枯れてしまう。また、暴風雨が来たときにも、根や土壌がしっかりしていなければ、果樹は吹き飛ばされてしまいます。目に見えない資産を大切にすることは、まさに会社の成り立ちとなる根底の部分を大切にすることと同じ。景気が悪化しても、人財（人材）や技術力、お客様とのリレーション、組織力、ブランド力がしっかりしていれば、そうした暴風雨を乗り切ることができるのです。 ※著書：「京都の企業はなぜ独創的で業績がいいのか」より抜粋

創立 60 周年

しっかりとした “土壌と根っこ” をつくろう！

2012年1月25日

さいのう とおる

追伸：インフルエンザが流行の兆し！ うがい・手洗い・マスクなど自己防衛をお願いします。